

困ってる人がいなければ組織は無くていい

単位町内会が立ち上がるまでは
まちづくり協議会が活動するべき

行政支援・協働型

拠点施設を運
営管理+地元
に必要な事業

あおい地区会 ほか

震災前の閑上

単位町内会が
自立して活動

閑上公民館の
運営協力会＝
小中学区全体

自立経営型

ビジネスで稼
いで自主事業
で地元還元

荒井TM

※住民ではない

■ 閑上グラウンドで稼ぐ

小中学区全体の**住民窓口**を担うには
専従者が必要で、財政基盤を整えないといけない(法人化等)

震災前の組織には
行政と協働するには**専門性**が足りない

生活利便施設がまだ整わない

コミュニティ拠点がまだできない

高柳の集合復興公営住宅が心配

支援の活動が減ってくる

住民の支援慣れ・不平不満ばかり

支援団体が個別バラバラに活動

町内会がなかなか立ち上がらない

PR不足

将来の姿が
見えてこない

活動拠点が
現地にない

役員の負担増

閑上地区
まちびらき

閑上地区
まちづくり協議会

■ コーディネート

■ 人材育成・リーダー担い手づくり

■ 人間関係づくり

■ 集まる場所づくり

行政の窓口
住民の窓口

生活者としての視点

正確な情報を発信